

安全衛生方針

安全で健康に働くことができる職場環境作りを推進する

スローガン

危険を予知し、感受性を磨き、ゼロ災文化を未来へつなぐ

安全衛生目標

1. 労働災害 0件
2. 健康診断 100%受診 二次検診 100%受診
3. 特定保健指導 受診率 50%以上

1.労働災害ゼロへの活動

(1) 安全衛生教育の活性化による危険感受性と危険予知能力の向上

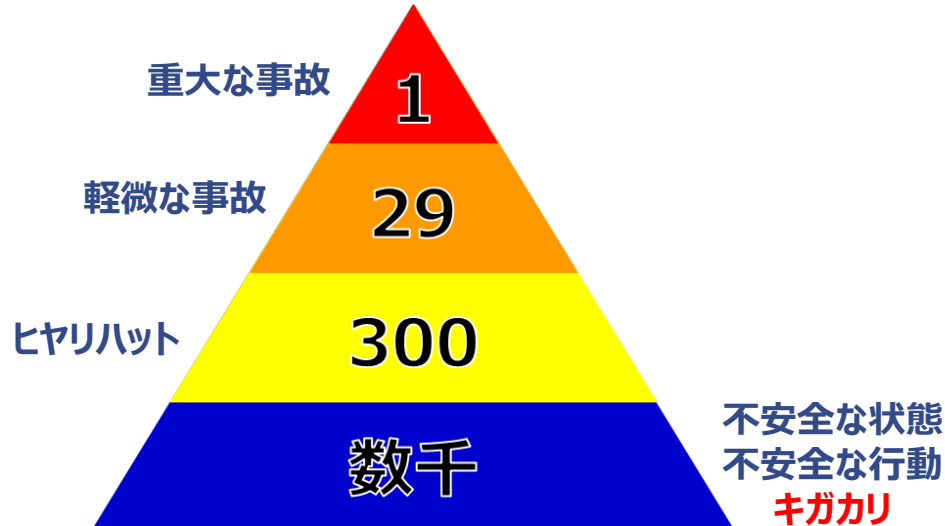
① HHK活動：ヒヤリハット + キガカリ（気掛かり）報告の推進

H：ヒヤリ 危険を感じた段階
 H：ハット 危険が現実化しそうになった段階
 K：キガカリ 気になる、不安に感じる段階

HHK活動(報告)

⇒ 労災事故未全防止

+ 危険を察知する能力を高める



HHK活動(報告)を定着させるために

- ・伝える：HHK活動は重大な事故を未然に防ぐ
- ・声掛け：気軽に報告できる雰囲気づくり
- ・迅速：発生直後に口頭で報告
- ・傾聴：些細なことでも聴き、質問し掘り下げる
- ・承認：気づきと報告をほめる
- ・対応：迅速に適切な対応をする
- ・共有：報告・対応内容を共有する場を設ける
- ・定着：報告が当たり前の文化を作る

※重大ヒヤリハットは従来通り書類で報告

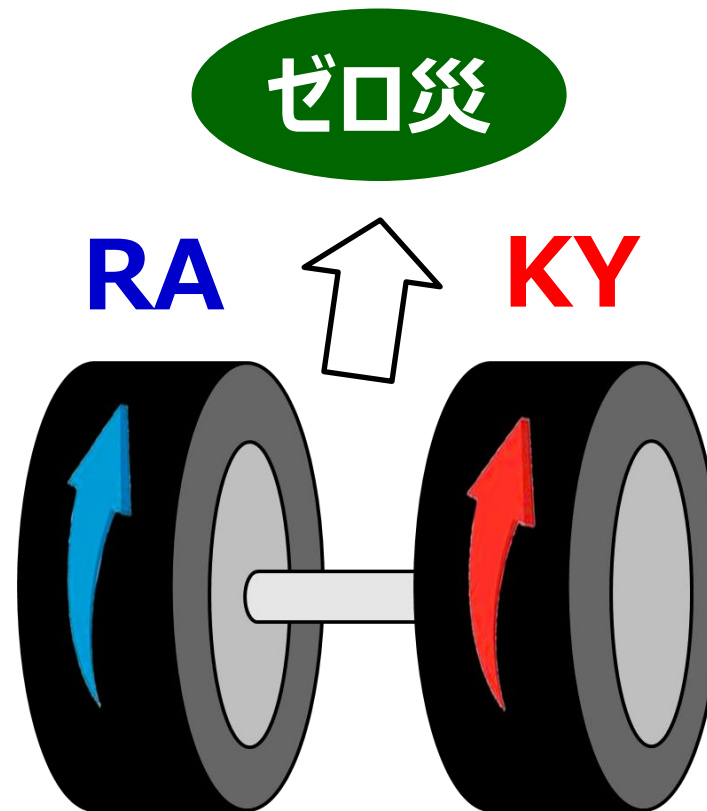
1.労働災害ゼロへの活動

- (1) 安全衛生教育の活性化による危険感受性と危険予知能力の向上
 ② RAとKYの両輪活動：安全環境の整備 + 危険予知能力の向上

リスクアセスメント

“管理者”が労働者の安全と健康を守るために、職場で発生し得る危険や有害要因を特定し、それらがもたらすリスクを評価し、適切な対策を講じる
 ハード対策

67期
活動継続



危険予知

“作業員”が日々の作業の中で危険を予測しケガを防ぐ
 ソフト対策

67期
活動推進継続

危険予知活動を推進し、両輪を同じ方向、同じ速さで回し、ゼロ災へ前進

1.労働災害ゼロへの活動

(1) 安全衛生教育の活性化による危険感受性と危険予知能力の向上

③安全衛生教育：作業未熟練者（経験3年未満）への教育と理解度の確認

■安全作業 自己診断表

期間：入社・異動～3年間

回数・サイクル：成長、習熟度合いに応じて上長が判断

入社[1～4週間]用		安全作業 自己診断表	
所属		氏名	
入社日		チェック年月日	
チェック記号【○：できた・問題なし】【△：あまりできていない・やや問題あり】【×：できていない・問題あり】（該当なし：-）			
チェック内容	自己チェック ○△×を記入	面談者チェック ○△×を記入	
1 作業服・保護具は、ルール通りに正しく着用していますか？			
2 決められた作業手順を覚え、その通りに作業していますか？			
3 不安点や無理な姿勢・動作で、作業していませんか？			
4 動いている機械や、安全カバーの隙間から手を入れた事はありませんか？			
5 機械や工具、扱う部材等の危険性や有害性を理解しましたか？			
6 作業や作業場所の、危険なポイントや禁止事項は把握しましたか？			
7 トラブル時の3原則（停める・呼ぶ・待つ）は覚えられましたか？			
8 スピードについて行けない、不慣れで出来ない作業はありませんか？			
9 道具や製品等は決められた位置に置いていますか？（仮置きのまま放置していないか）			
10 仕事中に分からない事があった時、勤務先の誰に聞か分かりますか？			
11 仕事中にケガをした時、勤務先及び〇〇（派遣元）への連絡方法は知っていますか？			
12 通勤中に事故やケガをした時、勤務先及び〇〇（派遣元）への連絡方法は知っていますか？			

13 仕事において、困ったことや悩んでいることがあれば記入して下さい。

14 仕事において、“ヒヤッ”とした事や“ハッ”とした事など、危険を感じた事があれば記入して下さい。

≪管理担当者 備考欄≫ チェックの答えが△・×の場合、具体的な内容と理由を確認し、対応状況を記入して下さい。

承認	確認	本人

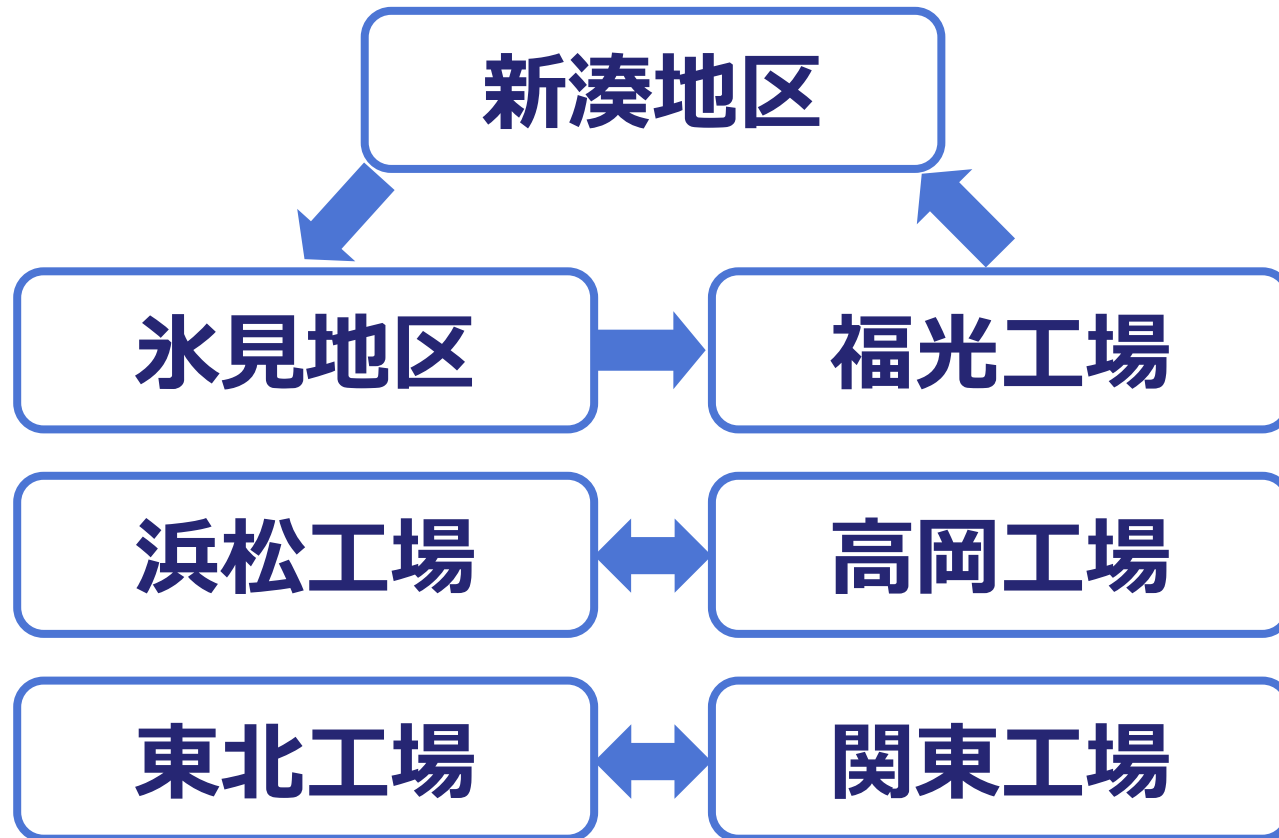
記入だけでなく、面談にて理解内容の確認と、困りごと等を聞き、アドバイスをする

1.労働災害ゼロへの活動

(2) 安全衛生委員会の充実

①安全パトロール：多数・多様・新たな視点での相互巡視の実施

67期 相互巡視ローテーション



7月～11月実施予定

※多くの方、未経験の方に参加いただけるよう期間を延長

多数、多様、新たな視点での「気づき」
をもとに、

⇒安全衛生向上の指導・助言

⇒好事例を自職場へ持ち帰り、安全
衛生委員会で展開し導入検討

会社全体としての
安全体制の強化を図る

好事例の横展開を継続

1.労働災害ゼロへの活動

(3) 誰もが安全に活躍できる職場作りの推進

① 作業負荷軽減設備・補助具・取り組みの共有

■ 66期相互順次Good Point集

新湊地区

水見地区

高岡工場

福光工場

③ 場所・設備
組付け作業
軽減、効率化


東北工場

関東工場

浜松工場（磐田）

浜松工場（浜北）

④ プロー成型課
成形後の加工治具には段取り時、中へ進入し、
とした際、安全プラグを抜かなければ進入できない
安全対策（抜いていると稼働しない）がされてい



■ 66期高齢者・女性が安全活躍できる職場づくり集

第66期 重点施策 労働災害ゼロへの活動③-1



(2) 高齢者・女性が安全に活躍できる職場作りの推進

第66期 重点施策 労働災害ゼロへの活動③-1



(2) 高齢者・女性が安全に活躍できる職場作りの推進

第66期 重点施策 労働災害ゼロへの活動③-1



(3) 高齢者・女性が安全に活躍できる職場作りの推進

第66期 重点施策 労働災害ゼロへの活動③-1



(3) 高齢者・女性が安全に活躍できる職場作りの推進
作業負荷軽減機器・工具の導入

■ 高岡工場 インペラー自動箱替化及び仕掛棚包箱変更

before



after



1箱満載ごと（15分に1度）にパレットに積み手間がある
（他作業の中断あるいは自作業の機械停止が発生）

1箱12kgあり
重いパレットのため奥側に入れるときに感度がつかない

自動箱替えとし、コロンが満載になる前に移せばよいため、
可動効率の向上に繋がる（90分程度の余裕発生）

1箱8kgとして負担軽減
パレット積みに変更して負担軽減

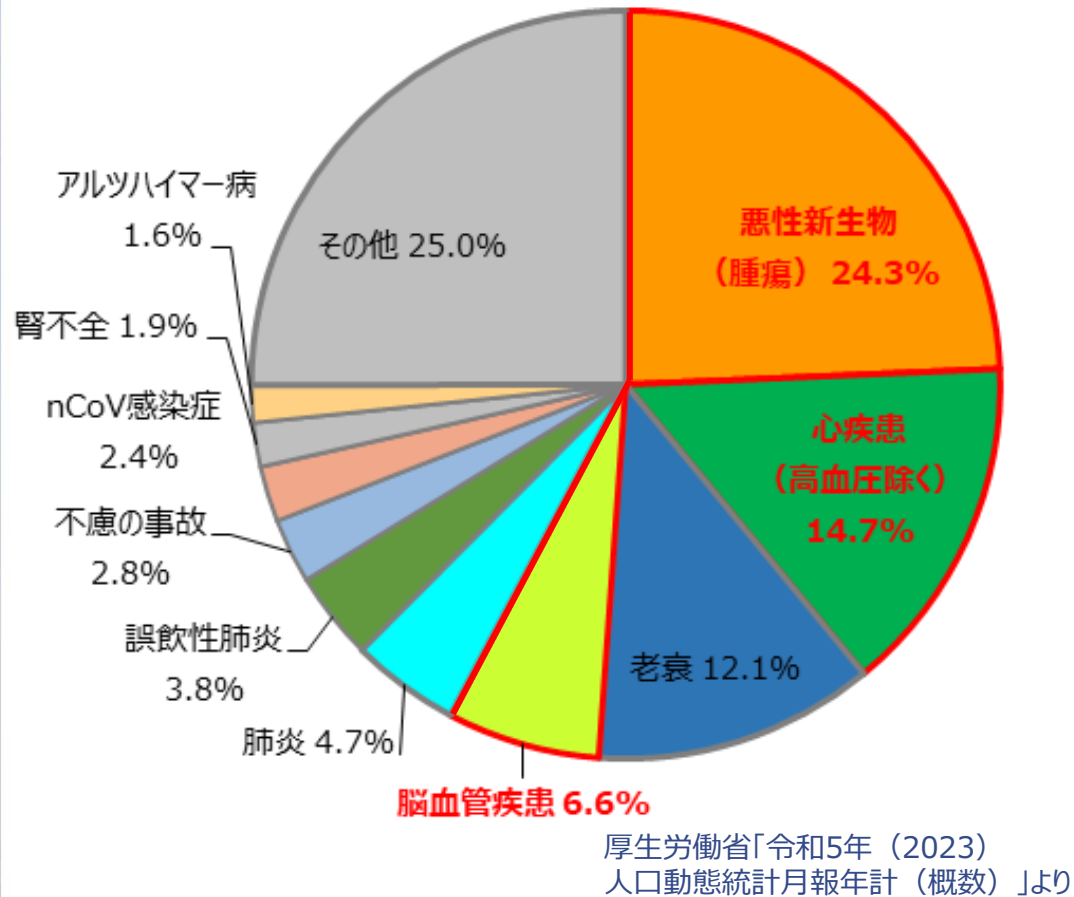
IE活動【中チョコ停削減】⇒稼働効率向上+苦渋作業軽減（重い+つかない）

安全衛生HPで共有：テーマに関わらず各工場の取り組み・導入事例を水平展開

2.心身の健全化によるウェルビーイング職場づくりへの活動

(1) 二次健診・特定保健指導の早期受診の推進

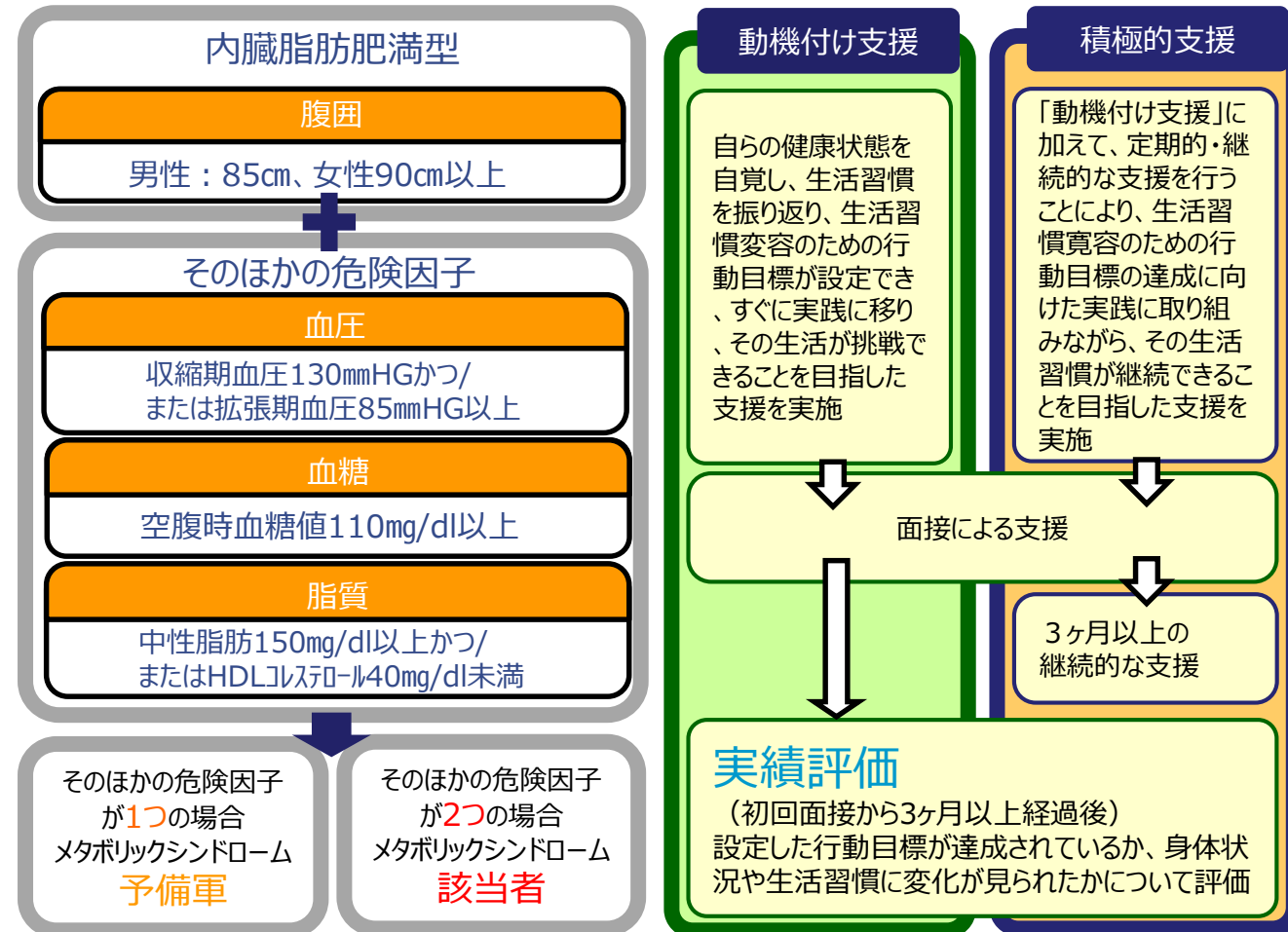
■ 死因別死亡割合（令和5年）



成人病が半数近くを占める

⇒二次検診受診で早期発見、早期治療を

■ メタボリックシンドロームの診断基準、支援



職場全体での特定保健指導の受診の推進、支援を！

2.心身の健全化によるウェルビーイング職場づくりへの活動

(2) ストレスチェックの結果を活用し職場環境を向上

■ ストレスチェックの結果を展開

安全衛生委員会



- ・ストレスチェックの結果を共有
- ・良い点、背景を確認
- ・悪い点、原因を確認
- ・改善点、改善策を協議
- ・改善進捗を確認

各部署

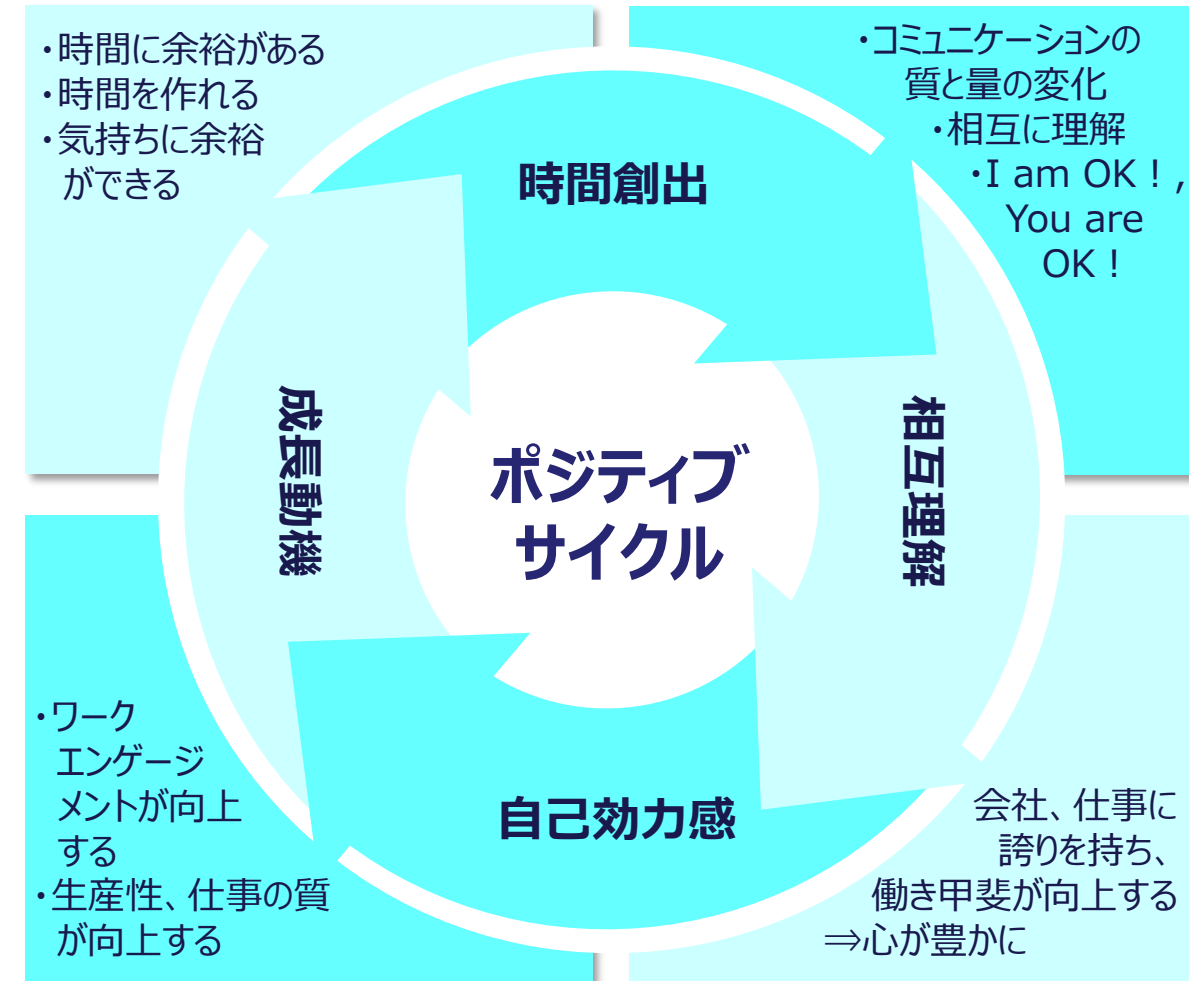


- ・ストレスチェックの結果を共有
- ・良い点、悪い点をディスカッション
- ・改善策を共有
- ・改善実施
- ・改善進捗を安全衛生委員会へ報告

■ ポジティブサイクル

- ・時間に余裕がある
- ・時間を作る
- ・気持ちに余裕ができる

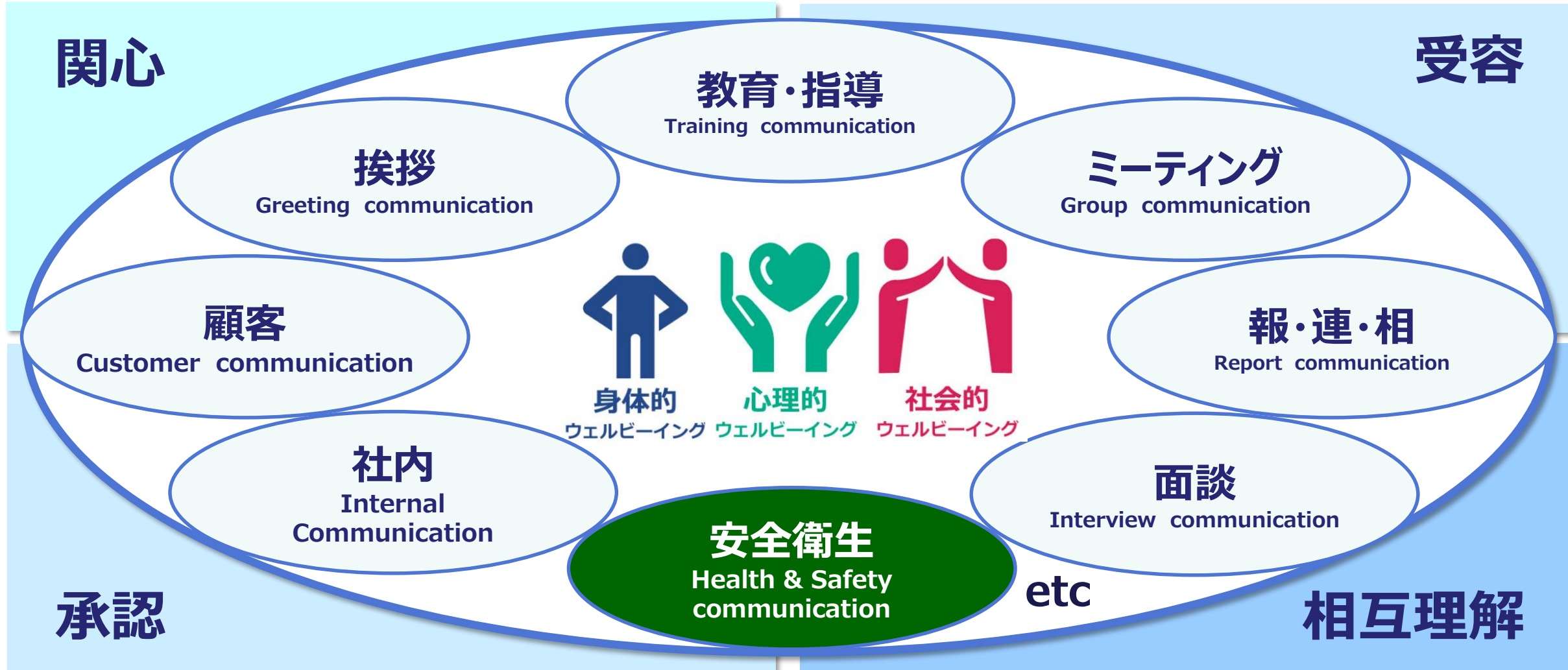
- ・コミュニケーションの質と量の変化
- ・相互理解
- ・I am OK ! , You are OK !



ポジティブサイクル：相互理解⇒自己効力感⇒成長動機⇒人的ストレス低減

2.心身の健全化によるウェルビーイング職場づくりへの活動

(3) 多様な価値観に適したコミュニケーションの実践



価値観多様化対応⇒コミュニケーションの質と量の変化⇒ウェルビーイング職場